



絵入りリンゴ完成

春の花粉付け作業から行ってきた相馬小学校三年生のリンゴ栽培授業が10月25日に収穫作業を行った。

始めに、児童らは三上指導員に収穫の仕方を聞き、収穫の時に枝にぶつかり傷がつかないように等の指導を受けていた。

早速収穫作業に取り掛かると、「傷つけないできれいにとれた。」という声がたくさん児童から聞くことが出来た。児童らは収穫したリンゴを静かにかごに入れ、最後まで丁寧に作業を行うことが出来



綺麗に収穫できたよ

ていた。

作業後は児童らから三上指導員へ多くの質問が寄せられ、「リンゴは台風など来た時はどのような対策がされているんですか」や、「料理にはどんな品種のリンゴが多く使われているんですか。」など今までと違う目線から質問が多く寄せられた。

この収穫したリンゴは来年、中学生の修学旅行にて販売する為、袋詰め作業も今後行われる予定である。

このリンゴ栽培授業は、小学生はもちろん初めての経験でしたが、私自身も農業振興課に来て初めての経験で一緒に多くの事を学ぶことができた。今回取り組んでみて、来年はもっとはつきり模様をつけるために太いペンで書く事や、児童らのリンゴを決める際にもっと日当たりの良い所を選ぶ事等の反省点を知ることが出来た。

今後はこれらを踏まえてより良いりんご栽培学習として、児童らが作物を作る大変さや、作物を食べられる感謝の気持ちを感じられるように取り組んでいきたいと感じた。



収穫の仕方に注目する児童ら



園主の山内大樹さんに児童らから感謝状が贈られる



これがみんなで育てた自慢のリンゴ